

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

病虫害防除技術情報（第 2 号）の送付について

このことについて、下記のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしく  
お願いします。関係機関と調整し、愛媛県内においてチュウゴクアミガサハゴロモに対する  
防除に、当面の間、別紙に記載された農薬を使用できるように措置しました。

記

1 情報の内容 **チュウゴクアミガサハゴロモの防除について**

2 発生状況

平成 29 年大阪府で国内初確認。29 都府県から特殊報、5 県から技術情報が発表されており  
(6 月 12 日現在)、愛媛県では、技術情報を令和 7 年 8 月 29 日に発表している。

3 形態の特徴と発生生態

- (1) 成虫は翅端までの体長が 14mm 程度、前翅は茶褐色から鉄さび色、前翅前縁部中央に半円  
形の白斑を有する(写真 1)。
- (2) 幼虫は白色、放射状に白いロウ物質を纏う(写真 2)。
- (3) 卵は枝の内部に産卵され、白いロウ物質で覆われる(写真 3)。
- (4) 広食性で、ミカン科、バラ科、ヒノキ科、ブナ科、マメ科、ミズキ科、モクセイ科、モチ  
ノキ科、フトモモ科、カキノキ科、カバノキ科、クワ科、ツツジ科、ニシキキ科等多くの樹  
種に寄生することが知られる。

4 被害

成虫、幼虫とも枝に寄生、吸汁加害し、多発時には、すす病を発症する事例が確認されてい  
る。また、成虫は枝内部に産卵するため、枝の損傷による被害を生じる場合がある。

5 防除上の注意

- (1) 令和 8 年 6 月 12 日現在、エルサン乳剤が桑のハゴロモ類、アプロード水和剤が桑のハゴ  
ロモ類幼虫に適用がある。
- (2) 植物防疫法第 29 条第 1 項に基づく措置として、愛媛県内に限り、別紙に記載された農薬  
で防除を行うことができる。
- (3) 別紙農薬の使用にあたり、購入した農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、  
希釈倍数、使用回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が出ない。
- (4) 産卵痕のある枝を除去、園外に持ち出し埋却するなど適正に処分する。

※植物防疫法第 29 条第 1 項「有害動物又は有害植物がまん延して有用な植物に重大な損害を与え  
るおそれがある場合において、これを駆除し、又はそのまん延を防止するため必要があるとき  
は、都道府県は、植物を検疫し、又は有害動物若しくは有害植物の防除に関し必要な措置をとる  
ことができる」



写真1 チュウゴクアミガサハゴロモ成虫



写真2 幼虫と脱皮殻



写真3 成虫と産卵痕

チュウゴクアミガサハゴロモに対しては以下の農薬を使用して防除を行ってください。

以下に記載した農薬はチュウゴクアミガサハゴロモに対して登録はありませんが、植物防疫法第29条第1項の規定による防除を行うために使用が可能です。

また、使用にあたっては購入した農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍数、使用回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が出ることはありません。

かき

農薬の名称	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量	本剤の使用回数
ダントツ水溶剤	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700L/10a	3回以内
アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	3回以内
アドマイヤー水和剤	散布	1000倍	収穫7日前まで(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	200～700L/10a	3回以内
アークリン水和剤	散布	1000倍	収穫30日前まで	200～700L/10a	3回以内
テルスター水和剤	散布	1000倍	収穫14日前まで	200～700L/10a	2回以内
テルスターフロアブル	散布	3000倍	収穫3日前まで	200～700L/10a	2回以内

かんきつ

農薬の名称	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量	本剤の使用回数
ダントツ水溶剤	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	3回以内
アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	3回以内
アドマイヤーフロアブル	散布	2000倍	収穫14日前まで(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	200～700L/10a	3回以内
アークリン水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	3回以内
テルスター水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	3回以内
テルスターフロアブル	散布	3000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	3回以内

なし

農薬の名称	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量	本剤の使用回数
ダントツ水溶剤	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	3回以内
アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	3回以内
アドマイヤー水和剤	散布	1000倍	収穫3日前まで(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	200～700L/10a	2回以内
アークリン水和剤	散布	1000倍	収穫14日前まで	200～700L/10a	3回以内
テルスター水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	2回以内
テルスターフロアブル	散布	3000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	2回以内

ぶどう

農薬の名称	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量	本剤の使用回数
ダントツ水溶剤	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	3回以内
アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	3回以内
アドマイヤー水和剤	散布	1000倍	収穫21日前まで(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	200～700L/10a	2回以内
アドマイヤーフロアブル	散布	5000倍	収穫21日前まで(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	200～700L/10a	2回以内
テルスター水和剤	散布	1000倍	収穫14日前まで	200～700L/10a	1回
テルスターフロアブル	散布	4000倍	収穫14日前まで	200～700L/10a	1回

もも

農薬の名称	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量	本剤の使用回数
ダントツ水溶剤	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700L/10a	3回以内
アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	3回以内
アドマイヤーフロアブル	散布	5000倍	収穫3日前まで(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	200～700L/10a	2回以内
アークリン水和剤	散布	2000倍	収穫14日前まで	200～700L/10a	3回以内
テルスター水和剤	散布	1000倍	収穫14日前まで	200～700L/10a	2回以内
テルスターフロアブル	散布	3000倍	収穫前日まで	200～700L/10a	2回以内

樹木類 ※アルバリン・スタークル顆粒水溶剤はつつじ類、つばき類を除く

農薬の名称	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量	本剤の使用回数
テルスター水和剤	散布	1000倍	発生初期	200～700L/10a	6回以内
アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	散布	2000倍	発生初期	100～700L/10a	5回以内